

第2回

西東京市男女平等参画推進フォーラム

断ち切ろう! 男だから 女だから

平成15年2月1日(土)・2日(日)
西東京市民会館 / 入場無料

このフォーラムは、男女一人ひとりがお互いを認め合い、共に幸せであるためにどうしたらいいかを語り、考え合う集いです。普段の生活で思っていること、感じていること、現実の壁などをみんなで見つめ、自分らしく・よりよく生きる一歩にしましょう。

『リトル・ダンサー』 映画会

～僕がバレエ・ダンサーを
夢見てはいけないの?～

2000年 / イギリス映画 / カラー / 日本語字幕 / 111分

2月1日(土) 午後2時～4時

西東京市民会館公会堂

事前申込必要(詳しくは12/15号の市報をご覧ください。)

講演会



『そこにもここにもジェンダー ～気づき・認め合う社会をめざして～』

講師 / 吉永みち子さん(作家)

2月2日(日) 午前10時～正午

西東京市民会館公会堂

直接会場へお越しください。

手話通訳有り

分科会

人として認め合う家族 ～夫と妻のコミュニケーションをどんな風に図りますか～

自立した一人の人間として生きていくために ～「働く」とは～

2月2日(日) 午後2時～4時30分

西東京市民会館会議室

直接会場へお越しください。

グループ・団体の活動紹介
展示をおこないます。

主 催 / 西東京市男女平等参画推進フォーラム実行委員会・西東京市
問合せ / 生活文化課男女平等推進係 電話 0424-50-0055

すべて保育有り
(要予約)

BOOK 紹介

『永遠の仔』(上・下巻)

天童荒太 著 / 幻冬舎 上1800円 下1900円

幼い頃、親によって心身を傷つけられた1人の少女と2人の少年。大人になり、再び出会ってしまった3人の身の回りで起こる事件の数々。すべては幼少の頃の虐待からだった...



消えることのない

痛み。折檻や虐待だけでなく、現代社会の問題についても考えさせられる1冊。

子どもの最新データ・マガジン『月刊 子ども論』

落合恵子 発行人 / クレヨンハウス 発行 / 2500円

全国の新聞17紙から子どもに関するニュースを次の8項目に分類して掲載している。世界、教育、家庭、社会、心・からだ、大人、数字、本・文化。タイムリーな巻頭特集は重い課題を取り上げ、大人としての責任を痛感させられる。例えば2002年6月号では、国連特別報告「女性への暴力」最新レポートがある。「知らない」ではすまされない内容でいっぱい。



『こころを殴られた子どもたち』

吉廣紀代子 著 / 毎日新聞社 1500円

「こころのガラス」が割れていくドメスティック・バイオレンス(DV)の影で忘れ去られた子どもたち。

彼らの目に暴力は、親の姿はどう映ったのか、10の家族の物語。



被害者である母親、加害者である父親、親は子どもの存在に無頓着。どんなに子どもの心が恐怖や不安に震えているか知らない。その子が大人になった時...



VOL.4 2002年12月

企画・編集 エガール編集委員会

発行 西東京市市民生活部生活文化課
男女平等推進係

〒188-0011 東京都西東京市田無町4-15-11
西東京市民会館内

(電話) 0424-50-0055

(FAX) 0424-50-0050

編集委員 / 倉田隆昭・小山陽子・齋藤三枝子

・鹿間玲子・新宮洋子・橋本典子

デザイン・印刷 / コロニー東村山印刷所

ご意見、ご感想をお寄せください。



エガールは再生紙を使用しています。

●エガール編集委員になって、ジエグダーについて勉強するようになった。はじめはその単語の意味すら知らなかったが、新聞記事やテレビなどを注意して見ると、いたるところにその問題が取り上げられていた。そして、私もこのジエグダーについて考えなければならぬと感じた。社会にはこんなにも、性差によって不平等があるなんて...。たとえ制度改革はされても、意識改革がなされない限り男女共同参画社会の形成はありえないと思う。今年大学生になった私、先行き不安になってくる。

(鹿間玲子)

編集後記